



令和2年3月22日 平野地車 入魂式

地のもてはやされ、有名神社だけでなく、全国各地の寺社でも「疫病退散祈願祭・同法要」が

「左・右・左」と三度潜り抜け疫病退散を願う風習が定着いたしました。当社でも二十八日より七月五日迄、境内の真ん中に「茅の輪」を設置いたしますので、ご自由にお参り

たいものです。 扱、毎号寄稿いただいております鳥取の河合宮司様の今季号はオオカミ信仰の事です。昔の人々の疫病退散への思いが良く判ります。現代でも疫病退散の妖怪「アマビエ」が

「左・右・左」と三度潜り抜け疫病退散を願う風習が定着いたしました。当社でも二十八日より七月五日迄、境内の真ん中に「茅の輪」を設置いたしますので、ご自由にお参り

ご挨拶

宮司 澤田政泰



ゆづるは神社社報

発行所
弓弦羽神社社務所
〒658-0048
神戸市東灘区御影郡家2丁目9-27
(旧地名：弓弦羽ノ森)
TEL 078(851)2800
FAX 078(851)2803
URL=http://www.yuzuruha-jinja.jp/
印刷所
(株)マテックス
神戸市中央区南井町2丁目1-38

月に一度は氏神様にお参りしましょう。
新車は必ず交通安全祈禱にご参拝ください。

<p>御影一筋 お好み焼き ゆくくり 御影本町4丁目5-10 078-821-5992</p>	<p>米工房 KOME&SAKE 高田屋 0120-05-5138 灘の地酒・ワイン 六甲ビール・こだわり焼酎 (山手幹線沿い・山側)</p>	<p>MAISON DECOR DESIGNER FABRICS MAISON DECOR メゾンデコール 東灘区御影郡家1丁目25-12 クレイス御影1F PHONE 078-854-5810 FAX 078-854-5786 営業時間 AM10:30~PM6:30 水曜定休 美しい布のある暮らしを提案します</p>	<p>MIKAGE CLASE</p>
<p>手づくり生活遊楽 株式会社 谷尾 神戸営業所 神戸市兵庫区水木通6-3-4 TEL 078-575-7721 FAX 078-575-7621</p>	<p>おまかせください! のぼり 幕 法被 たすき 提灯 太鼓 その他祭礼用品 株式会社 谷尾 神戸営業所 神戸市兵庫区水木通6-3-4 TEL 078-575-7721 FAX 078-575-7621</p>	<p>BarBer MORIOKA 床屋の技をご継承ください。 御影で創業100年、昔ながらの町の床屋です。 祖父の代から受け継いだ丁寧な施術でご奉仕致します。 〒658-0045 神戸市東灘区御影本町4-7-11 TEL.078-854-0498 ●営業時間(土・日・祝 ご予約優先制) 平日 9:00~19:30 土日祝 8:30~19:00 ●定休日:毎週月曜日 第2・3火曜日 ●最寄駅:阪神御影駅南側 徒歩1分</p>	<p>創業享和元年 御菓子司 虎屋吉末 東灘区御影本町四丁目1-11 電話〇七八(八五二)二四四四</p>
<p>YAKINIKU RESTAURANT MIKAGE 高麗飯店 東灘区御影郡家1丁目21-15 TEL(078)842-3319 FAX(078)842-3398</p>	<p>池尻石材工業 一神戸支店一 神戸市東灘区御影本町4-12-28 御影旨水館内 電話 078-851-3400 http://butsuji-ikejiri.com/</p>	<p>カラオケ喫茶・スナック Live カラオケ・喫茶 午後1時~午後4時 (土・日・祝 休み) スナック 午後7時~午後11時30分 (日・祝 休み) 神戸市東灘区御影本町4丁目12-7 電話 (078) 854-0499</p>	<p>炒ばた焼 現吉 阪神御影 御影中町1丁目4-15 Tel 851-2695</p>
<p>SANYO AIR SERVICE CO.,LTD 地球規模の感動を届けたい 神戸No.1の店舗ネットワーク SAS 三洋航空サービス http://www.travelsas.co.jp</p>	<p>御菓子司 常盤堂 神戸市東灘区御影中町4丁目 電話 078(851)4677番代</p>	<p>めぐみ 弓弦羽神社 北側 ☎ 078-822-2239 休診 日曜・祝日 めぐみ鍼灸院</p>	<p>総合レンタル衣裳 専門店 ご婚礼・七五三・宮参り 成人式・卒業式・十三参り 弓弦羽神社指定店 (株)スエヒロ衣裳 0798-33-1814 http://www.rental-suehiro.com/</p>
<p>辛口ひとすじ 菊正宗 神戸・灘 菊正宗酒造株式会社 菊正宗ホームページ http://www.kikumasaamune.co.jp</p>			

後醍醐天皇とその周辺 三 オオカミ信仰・疫病退散そして下地中分

全国熊野会 鳥取県支部長

葦原神社 宮司 河合 鎮徳



今回も、後醍醐天皇を奥宮にお祀りする「船上神社」にかかわるお話を進めたいと思います。船上神社が信仰の対象になったのは随分古くからで、熊野信仰は修験者によってどんどん広げられていったようです。すぐ近くに山岳信仰の大山(だいせん)があり、天台宗の大山寺と大神山(おおがみやま) 神社は大山さんといわれる霊山。東は投入堂(なげいれどう)で有名な三朝(みささ)の三仏寺も修験道で広まった寺院でした。オオカミ信仰ともあいまって独特の信仰形態が生まれます。オオカミ信仰については以前にお話したので先に進みます。

人間の生死にかかわるとき、特別な信仰が発生します。「あの人の命が危なくなつた。そうだ、オオカミさんに頼るしかない。祈ろう。」という図式です。オオカミさんが奇しき怪しき疫病や「まがごと」を食い殺してしまうという信仰が生まれたのでしょうか。祠や社が近い場合は村人たちによる「万人講」(まんにんこう)や「お百度参り」が行われました。しかし、信仰対象の祠や社が遠い場合は村の代表者たちが代参したようです。今年、年頭からシナより流行たる疫病(えやみ)のために全世界が大変な状態になっています。

オオカミ信仰と疫病退散

その昔、疫病の流行で神社や寺院が祈願をしたことは歴史書に型のおオカミ様でした。(ちよと残念)余談ですがこのオオカミさん送りに関わる人々には昔からのタブーがあるそうです。まずひとつ。オオカミさんを背負つて山を降りる途中後ろを振り向いてはならない。なぜならばオオカミさんが山に戻つてしまわれるからである。二つ目。オオカミさんを背負つた者が躓いて転んだりすると『おタバコ』といわなければオオカミさんに頭を食われてしまう。(おタバコとは休憩の意味。山陰地方独特の表現) 現在では参拝の方々も高齢となり、オオカミさんを背負つて山頂まで上ることが困難となり途絶えた地域がほとんどであります。

下地中分と松尾神社(まつのおたいしゃ)

弓弦羽神社の氏子さんには大手有名酒造会社の名を連ねていらつしやいます。まことにうらやましい限りです。お酒といえば京都の西方に鎮座します松尾大社とのかかわりもありますのでそのことも触れたいと思います。前述の鳥取県東伯郡の旧東郷町松崎地区のことです。中学や高校の歴史の教科書に「下地中分」なることが中世において行われていたことがうすらすらと記憶にあると思います。

平安時代からの荘園が律令制を蝕み、ついに律令制は破綻します。教科書は何の面白みも無い文章で「下地中分」の説明と鳥取県の東郷湖畔松崎の絵図を掲載していました。全国でも下地中分はあつたはずなのになぜ伯耆の国の東郷の庄が教科書に載るのかその意味がわかりませんでした。当時中学生だった私にとって、邪馬台国などのロマンあふれる古代に比べ、中世という殺伐としたイメージの時代には興味が湧きませんでした。大人になつてお酒を愛するようになると、お酒には松尾大社が密接にかかわり、全国の杜氏さんが崇敬している神社であることも知りました。また、全国の酒造会社は松尾大社の御分霊(ごぶんれい・わけみたま)をお祀りしていることを理解すれば、この下地中分はすんなり頭の中に納まるのであり

詳しいですね。その名残は今もあるのです。先日そんな電話をお受けしました。「この疫病を退治して欲しくて電話しました。村の古老から『疫病封じは船上神社だ』と聞いております。」とご婦人からの電話です。そして「オオカミ様と大神様は同じでしょうか?」と。今でも生きるオオカミ信仰です。ちなみにそのご婦人は旧東郷町松崎地区在住とか。(現在は鳥取県東伯郡湯梨浜町松崎)東郷というと中学校の社会科歴史分野で習った教科書の「東郷の庄 下地中分」の古い絵図を思い出しました。疫病退散の御神札は各家々の神棚に伊勢神宮の大麻、氏神様のオフダと共に祀られているのです。

同じように鳥取県西部の米子市にも疫病退散の信仰篤き地域が点在しています。地域・村・部落のお役目の方が代表で参拝され、御神札を受けて帰られます。その根強い信仰には驚きます。そしてオオカミさまの霊力もまたすごい。古き時代、それぞれの地域の祠にはオオカミの神像が祀られていました。大きさはその地域の経済力や信仰の度合いによつて異なつていたようです。そのオオカミ神像と船上神社に御祀りしてある神像とを年末に交換するのですが標高六五メートルの山に積雪があり神像を山頂まで上げることが困難なこともあり、時期を見計らつて行われていたようです。ちなみに私の住む地域のオオカミ神像は高さ五十センチほど幅四十センチほどの坐像です。神社本殿におさまっている坐像は海老茶色の木像でオオカミというより獅子に近いお姿です。黒いタテガミがふさふさとしており、県立博物館の学芸員たちはこのタテガミを通称バナナと呼んでいます。きつと愛着を感じているのでしょう。

オオカミさん送り

昨年末、ある地域の「オオカミさん送り神事」を斎行いたしました。あらかじめ白布にまかれたオオカミ様を村の代表三名が神社に運ばれました。白布を解き神事を行い、新たな御神札を入れ替え御祈願するのですがこの地域のオオカミ様は坐像ではなく御神殿です。

では下地中分とは一体なんだったのでしょうか?ポイントが荘園であります。この荘園を管理する領主と鎌倉時代に頼朝が源行家や義経を捕らえるために各地の荘園などに置いたはずの地頭が現地で次第に勢力を持ち、「泣く子と地頭には勝てぬ」といわれるほどの勢力を持ちます。すると荘園を管理していた荘園領主とのトラブルが発生します。鳥取県というより伯耆の国の東郷の庄は東郷湖の周りの肥沃な土地で、京都の松尾大社の御分霊を祀る松尾神社が大きな荘園を所有していたようです。管理する荘園領主と台頭してきた地頭との争いを治めるために調停が行われました。荘園を二分する・あるいは二対一の割合にするなどの案です。以下は全国で二番採択が多い東京書籍の中学歴史教科書を引用します。この争いは(鎌倉)幕府によつて裁かれ、土地の半分が地頭に与えられたり(下地中分)・・・ 絵図と説明が左欄外に「上の絵図では、左半分が領主分とされ、境界に線が引かれているのがわかります。(伯耆国東郷庄下地中分絵図 東京大学史料編纂所蔵)とあります。余談ですが、鳥取県ではほとんどの市町村教育委員会がこの東京書籍を採択しています。理由は「地元の史料を使つていてるので良い」とのこと。教科書に関する問題や教育に関することは別な機会にお話しすることがあると思いますのでこのままにします。

いずれにしても船上神社の宮司を拝命したことによつて新たな体験やこれまであまり気に留めなかつたことが急に大きく迫つたりしてきました。日々新たな学びがあり毎日がとても面白く感じられます。

弓弦羽神社の神様と松尾大社の神様をはじめ八百万の神様に感謝しながら冷たく冷やしたお酒を今日も美味しくいただきましたと思います。

御屋根葺替前は 80年以上の年月で銅板には緑青がふき それなりの古色でした
御屋根葺替の直後は 光っていましたが直ぐに 10円玉の銅色となりました
しかし 軒下や垂木鼻の 銑金具の金メッキの美しさは数十年続きます



新しくなった 松尾社の瑞垣と門
瓦葺から 銅板葺きとなりました



この度の『大修造事業』につきましては、温かい御厚志を賜り、誠に有難うございました。荘厳な御社となり、御参詣の皆様には以前にも増してお喜び頂けると思っております。事業完遂にあたり、茲に改めて御奉賛頂きました皆様に深謝申し上げます。
今後は、この財産を大切に維持管理し、神社隆昌並びに、皆様方のご繁栄を祈念し、ご奉仕する所存でございますので、尚一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。尚一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。尚一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

宮司 敬白

御鎮座1170年奉祝 大修造事業収支計算書

収	入	¥106,932,000	
支	出	¥104,370,000	
未	払	¥5,500,000	概算
不	足	¥2,938,000	神社会計より補填予定

収 入	奉賛金	¥73,200,000	582名
	神社準備金	¥30,000,000	
	銅板奉納	¥1,635,000	545枚
	玉串料	¥1,031,000	仮遷座祭・正遷座祭・奉祝祭
	銅板売却代	¥517,000	
	能チケット代	¥549,000	183枚
合	計	¥106,932,000	

支	本体工事	¥54,650,000	御本殿・瑞垣・中門・瑞垣門
	森本銑金具	¥15,020,000	上記銑金具
	殿内調度	¥10,680,000	御本殿内 御帳台・御幌・御簾他
	遷座祭	¥4,250,000	仮遷座祭・正遷座祭
	奉祝・顕彰	¥3,330,000	奉祝祭祝宴・特別記念品
	松尾社瑞垣	¥7,220,000	
	薪能	¥5,860,000	平成30年10月12日
出	経費・雑費	¥3,360,000	
	合	計	¥104,370,000

未 払	奉祝・顕彰	¥1,500,000	顕彰石碑
	薪能	¥4,000,000	令和2年10月2日
	合	計	¥5,500,000

御鎮座壹千壹百七拾奉祝
大修造事業の記録

平成二十九年 五月 神社責任役員会にて
大修造事業の骨子決定
平成二十九年 八月 奉賛会結成

奉賛会 会長 菊正宗酒造株式会社
副会長 弓弦羽神社崇敬会
同 会長 藤原久
同 弓弦羽神社責任役員 平田隆

平成二十九年 十一月 募金開始
平成三十年 十月 十二日 境内にて
薪能 祭祀能舞「務古津比売命」上演
平成三十一年 一月 二十三日
午後七時 仮殿遷座祭

令和 元 年 十月 十一日
午後七時 正遷座祭

十月 十二日

午前十時 例祭に合わせ奉祝祭

正午 祝賀会 於…御影公会堂

令和 二 年 二月 中門・瑞垣工事終了

令和 二 年 三月 松尾社瑞垣工事終了

令和 二 年 十月 二日

薪能 祭祀能舞「務古津比売命」上演予定



今回の御屋根の葺替に
使用した銅板(170mm x 365mm)は
約二千三百枚
中門・瑞垣門・瑞垣 約四千八百枚 です

右図の 御本殿の後部の黒い部分は土塀で互葺です(今回の修造の対象外です)
又、●の 場所に 昭和十一年より令和元年まで、御本殿の屋根の上にあつた鬼板と勝男木を展示しております(下の写真)
鬼板・勝男木ともに「桧」を銅板で覆います
鬼板の中心と 勝男木の両端には 金色の神紋(橘)の銑金具を付けています
(銑金具は取外し メッキをやり直して現在も御本殿の屋根の上にあります)



鬼板と勝男木 人間と比べ 大きさを実感してください



左の ○ 鬼板 右の ○ 勝男木

鬼板 巾220cm 高さ160cm 厚さ18cm
勝男木 径24~30cm 長さ180cm

(概寸) 重さ 約200kg
(概寸) 重さ 約100kg